

吹田市勤労者福祉共済運営委員会（会議概要）

- 1 日 時 令和元年5月16日（木） 午前10時00分～午前11時00分
- 2 場 所 吹田市役所 高層棟4階 会議室2
- 3 出席者 安部委員・安藤委員・井上委員・植田委員・岸原委員・小島委員・
土橋委員・平井委員・松下委員・矢野委員・山口委員・奥山委員
事務局 井田部長・大音参事・萩原主幹・西村主査・榎本主任・坂本係員
- 4 公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 0名
- 6 議題 (1) 平成30年度事業及び決算報告について
(2) 吹田市勤労者福祉共済条例の改正について
(3) その他

部長挨拶。

議題紹介：前年度決算、条例改正について。

職員紹介。

新副会長の選任。安藤会長より山口委員が推薦され、拍手により選任される。

委員会が成立している。傍聴申請はなし。当日配布資料確認。

決算報告説明。

会長：実績を踏まえて、今後の判断に整合性出るような資料にしてほしい。基金の積み立て、予算と決算がわかりやすいような資料を用意されたい。

—承知した。

委員：システムについては自社でも予算がかかっているが、共済でもシステムはしっかり確保しておくべきでは。

—共済ではリースとしている。リース料+保守料。また、リースとすることにより、コンパクトにしている。

会長：幸せ探しバスツアーとは。

被共済者や委員会内で、出会いの場がないという意見をきいている。旅行会社の他市合同企画に参加しているもの。年々、参加者が減少しているため、企画や広報について工夫することが課題。

会長：資料が当日配布であるため、事前資料とされたい。

—今後気を付けたい。

委員：ボウリング大会がよかった。

—個人の参加もあるが、会社同士、従業員同士の交流を図るもの。楽しんでいただけるものにしたいので手厚くしようと考えている。

会長：市内の事業所数は増えているのに、福祉共済の加入実績が少ない。対策が必要では。

—条例改正に関する事なので、のちほど説明。

会長：福利事業について、応募数が増えている気がするが、何か感じていることはあるが。

—増加は感じているが、特別なことをしたことはない。新規加入者の応募もあるので、その影響もあるかもしれない。今後の事業に生かしていきたい。

委員：当選回数は調整しているのか。

—システムに入力して行っている。一度当選したからと言って、しばらくは当たらないということはない。

委員：制度の魅力がないのか、認知度が低いかだと思う。認知度を上げることはできないのか。

—商工会議所の生活習慣病予防検診の補助をしており、それに関係して告知はしている。少人数の事業所が多いと思うが、そこにどう周知していくかが課題だと考えている。引き続き皆様にもご協力をお願いしたい。

会長：全体が減っていないのに、加入者が減っていくのは如何。何か問題があるのか。

—社会の流れとして、設立直後と現在では求められているものが異なるので、今後改善したい。皆様の御意見も伺いつつ対応できれば。

条例改正について説明。

委員：パブコメがあったら運営委員会にかけられるのか。

—根幹に関する意見があれば委員会に諮る必要はあるが、なければ事務局で取り組む。

会長：加入要件が緩和されるということは、加入者増加につながるということでよいか。

—おっしゃる通り。

（委員より、賛同の声。）

会長：事業所が移転した場合は退会しているのか。

—その通り。条例改正により、市街移転による退会が必要になることはない。

閉会の挨拶。